

●モンゴル

モンゴルの2018年第4四半期の成長率は上昇し、マクロ経済指標の改善傾向も継続している。しかし全般的な経済状況は好転せず、不良債権の拡大、通貨トゥグルグの減価の継続、家計へのインフレ圧力などの悪化が見られる。

マクロ経済

2018年第4四半期の実質GDPの成長率は対前年同期比8.1%で、前期の同6.6%から上昇した。2018年のGDP成長率は前年比6.9%となった。この成長はサービス、鉱工業、農業、貿易、運輸部門の貢献によるものである。これらの中でサービスと鉱業の貢献は特に大きかった。しかし建設業は成長率を0.2ポイント押し下げた。需要面では家計消費は3.2%増加した。粗資本形成は27.2%増であった。しかし純輸出はマイナス5.4%となった。こうした状況は世界最大の銅及び金鉱山、オユントルゴイの第二段階である地下採掘開発に対する投資によるものである。

2018年第4四半期の鉱工業生産額の伸び率は前年同期比15.9%となった。し

かし前半の伸びは低く2018年の伸び率は4.8%に止まった。2018年の鉱工業生産額は15兆7000億トゥグルグで、その72%を鉱業、22%を製造業が占めた。石炭の採掘高は前年を6.2%上回る5000万トンで、その内の3630万トンが輸出され前年を8.6%上回った。銅精鉱の生産は前年を0.5%下回る130万トン、輸出は0.7%下回る140万トンであった。金の生産は前年を4.1%上回る20.7トン、輸出は76.4%下回る3.4トンであった。

2018年末の登録失業者数は2万5000人で前年同期の3万4400人から減少した。2019年1月末には2万4400人にさらに減少している。2019年1月末に3万4700人が労働社会福祉サービス庁に登録して仕事を探している。このうち70.4%が失業者で29.6%が有職者である。

2018年の年平均消費者物価(CPI)上昇率は6.8%で前年の4.3%から上昇した。2019年1月は前年同月比7.3%となった。1月にはCPIは全ての部門で上昇している。品目別では全体の26.1%を占める食料及び非アルコール飲料の上昇率は10.8%となった。住宅・水・電気・燃料は10.5%、保健は10.5%となっている。レクリエーション・

文化は11%で最高となっている。

通貨トゥグルグの2018年の対米ドル平均為替レート1ドル=2473トゥグルグであった。2019年1月は対前年同期比9.2%減価となる同2650トゥグルグとなっている。

2018年の国家財政収支は2010年以来となる1200億トゥグルグの黒字であった。2019年1月はさらに増加し、1兆3200億トゥグルグの黒字となった。これは過去五年間で最大の月次黒字であった。1月の調整収入と援助は前年同期を30.2%上回る5兆5820億トゥグルグであった。1月の財政支出と純融資は前年同期を34.1%上回る6兆9060億トゥグルグであった。1月の租税収入は前年同期を33.7%上回る6兆2630億トゥグルグであった。調整収入と援助に加え、総収入の18.6%にあたる1兆5830億トゥグルグが未来資産基金に繰り入れられた。一方で政府は2019年初から多くの政府基金の整理の一環として安定化基金を廃止した。財政収入のうち73.8%が租税収入、7.6%が非租税収入であった。財政支出と純融資の増加は主に資本支出の増加によるものである。資本支出は前年同期の4.6倍となる2兆3900億トゥグルグであった。経常支出は前年同期を27.1%

| | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2018年 1Q | 2018年 2Q | 2018年 3Q | 2018年 4Q | 2018年 12月 | 2019年 1月 |
|----------------------------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 実質GDP成長率 (対前年同期比:%) | 11.6 | 7.9 | 2.4 | 1.2 | 5.3 | 6.9 | 6.2 | 6.5 | 6.6 | 8.1 | - | - |
| 鉱工業生産額 (対前年同期比:%) | 16.1 | 10.7 | 8.8 | 12.3 | 13.0 | 4.8 | 3.1 | 1.9 | ▲1.3 | 15.9 | 21.6 | 11.2 |
| 消費者物価上昇率 (対前年同期比:%) | 10.5 | 12.8 | 1.9 | 1.1 | 4.3 | 6.8 | 6.8 | 6.4 | 6.5 | 7.5 | 8.2 | 7.3 |
| 登録失業者(千人) | 42.8 | 37.0 | 32.8 | 34.4 | 25.5 | 25.0 | 23.1 | 25.8 | 24.2 | 25.0 | 25.0 | 24.4 |
| 対ドル為替レート(トゥグルグ) | 1,526 | 1,818 | 1,971 | 2,146 | 2,441 | 2,473 | 2,408 | 2,411 | 2,477 | 2,594 | 2,637 | 2,650 |
| 貨幣供給量(M2)の変化 (対前年同期比:%) | 24 | 13 | ▲4.6 | 19.8 | 30.5 | 22.8 | 31.1 | 28.6 | 21.4 | 22.8 | 22.8 | 24.7 |
| 融資残高の変化 (対前年同期比:%) | 54 | 16 | ▲6.4 | 6.1 | 9.6 | 26.5 | 11.5 | 19.3 | 21.8 | 26.5 | 26.5 | 26.1 |
| 不良債権比率(%) | 5.0 | 5.0 | 7.4 | 8.5 | 8.5 | 10.4 | 8.7 | 8.6 | 8.3 | 10.4 | 10.4 | 10.4 |
| 貿易収支(百万USドル) | ▲2,089 | 538 | 872 | 1,558 | 1,863 | 1,137 | 352 | 470 | 110 | 205 | 28 | 103 |
| 輸出(百万USドル) | 4,269 | 5,775 | 4,669 | 4,917 | 6,201 | 7,012 | 1,482 | 2,099 | 1,701 | 1,729 | 531 | 607 |
| 輸入(百万USドル) | 6,358 | 5,237 | 3,798 | 3,358 | 4,337 | 5,875 | 1,130 | 1,629 | 1,592 | 1,524 | 503 | 504 |
| 国家財政収支 (十億トゥグルグ) | ▲297 | ▲868 | ▲1,157 | ▲3,660 | ▲1,742 | 12 | ▲26 | 39 | 229 | ▲230 | ▲254 | 132 |
| 国内貨物輸送 (対前年同期比:%) | ▲1.3 | 20.1 | ▲16.1 | 12.5 | 19.1 | 15.1 | 19.4 | 1.1 | 18.4 | 20.8 | - | - |
| 国内鉄道貨物輸送 (対前年同期比:%) | ▲0.5 | 2.8 | ▲8.0 | 8.3 | 8.7 | 13.4 | 37.7 | 3.3 | 5.6 | 12.3 | 9.6 | 14.3 |
| 成畜死亡数 (対前年同期比:%) | 84.8 | ▲63.0 | △56.0 | △2.3 | ▲38.8 | △3.0 | △4.2 | △3.1 | 54.0 | 58.0 | - | ▲91.7 |

(注)消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。
(出所)モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか

上回る1123億トゥグルグであった。しかし純融資は前年同期を94.3%下回る418億トゥグルグであった。財政支出と純融資の94.3%が経常支出、5.5%が資本支出、0.2%が純融資であった。

2018年末の貨幣供給量(M2)は19兆5000億トゥグルグ(74億ドル)であった。これは前年同期を22.8%上回っている。米ドル建てでは同じく13.3%上回っている。一方、2018年末の融資残高は17兆2000億トゥグルグで、前年同期を26.5%上回っている。米ドル建てでは前年同期を16.7%上回っている。これは2014年8月以来の上昇である。2018年末の不良債権比率は10.5%で、前年同期の8.5%から上昇した

外国貿易

2018年のモンゴルの貿易相手国は156カ国で、貿易総額は129億ドルであった。輸出は前年を13.1%上回る70億ドルで、輸入は前年同期を35.5%上回る59億ドルであった。この結果、貿易収支は11億ドルの黒字となった。輸出の増加は主に鉱産物と繊維製品の伸びによるものであった。鉱産物の輸出は前年比23.0%増で、繊維製品は同22.2%増であった。石炭の輸出は23.5%上昇し280万ドルとなった。同時期に輸入はすべての項目で増加した。卑金属及びその他は61.8%、機械類・電気製品は39.4%、食料品は15.3%

それぞれ増加した。

モンゴルの貿易相手国としては通例のとおり二つの巨人が圧倒的な地位を占めた。2018年の中国への輸出は全輸出の93%にあたる65億ドルで前年比23.8%増であった。一方、中国からの輸入は全輸入の34%の20億ドルで前年同期比44.8%増となっている。ロシアへの輸出は8590万ドルを記録し、前年を27%上回っている。輸入は前年を40.5%上回る17億ドルで全輸入の29%となった。

ERINA 調査研究部主任研究員
エンクバヤル・シャクダル